

テーマ：現場のスペシャリストから学ぶ！

～救急看護認定看護師による

フィジカルイグザミネーション演習～

1) カテゴリー：③教育方法

2) 学校概要：奈良看護大学 3年課程

1学年 60名定員 修業4年

奈良県生駒郡三郷町三室1丁目14-1

1 学年

基礎学習力 (医療・人体の理解)

- ◆形態機能と疾患理解
(解剖生理など)
- ◆生涯発達看護

2 学年

臨床基礎

- ◆コミュニケーション
リテラシー
- ◆筆談カフェ
- ◆経営学
- ◆看護の思考とプロセス

3 学年

臨床応用

- ◆災害看護
- ◆フィジカル
イグザミネーション
- ◆教育学

4 学年

総合実践

- ◆看護形態機能学演習
- 臨床詩論技術
- ◆OSCE
- ◆臨床教育実習1・2



学校の特徴

奈良県立病院機構キャラクターヒカリちゃん

当校は、奈良県立病院機構内にある4年制看護専門学校です。4年間という教育期間を活かし、演習・実習を充実させ、確かな「実践力」を備えた看護師の養成を目指しています。

3年次、専門分野において総合実践能力の獲得を目指す科目「フィジカルイグザミネーション」では、講義・演習を〈奈良県立病院機構で活躍する4名の救急看護認定看護師〉が担当しており、現場とつながる学びを経験できます。

科目の特色

近年、看護師の役割は拡大し、看護師が、最初に異変に気づく場面が増えています。その異変に気づくためには、正しい知識、技術、判断力をもとに、患者を「正しく診る力」＝「患者の安全を守る力」が不可欠です。本科目では、まず患者さんを全身で理解するための技術である、身体診察を正確にできることを強く意識し、正しい技術を身につけるために、「フィジカルイグザミネーション」という科目名としています。

演習では、フィジカルイグザミネーションで得られた情報をもとに、根拠に基づいてアセスメントし、看護実践につなげるスキルを育成します。4名ものスペシャリストが総力を集結し、臨床と教育をつなぐ質の高い学習環境を実現しています。

演習の特色

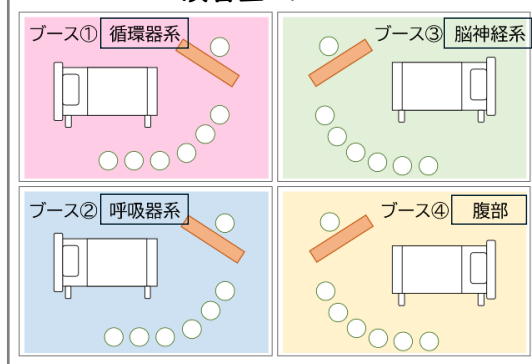
1日4コマを使い、呼吸・循環・腹部・脳神経の4ブースを設置。4名の救急看護認定看護師が各ブースを担当し、学生はグループごとにローテーションしながら、全ての領域を学びます。

特徴は、現場の第一線で活躍する救急看護認定看護師が、豊富な臨床経験をもとに作成した実践的な事例です。実際の患者さんを想定した多彩な事例を用いて、「なぜその症状が現れるのか」「何を観察し、どうアセスメントするのか」「どのように言語化し、看護につなげるのか」を「見る・触れる・聴く・考える」を繰り返しながら学びます。データを読むだけでは得られない、患者さんの身体から得られる情報を根拠とし、フィジカルイグザミネーションとアセスメントを往還することで、将来の看護実践につながる高度な観察力・判断力・表現力を養っています。

学生は、現場で培われた知識と経験が詰まった演習を経験し、今までの臨地実習で、なんとなく良くない感じがするけど、どこを診たらいいのか、どう判断していいのか、どう言葉にすればいいのかわからなかったという問題が解決され、これからの領域別実習に向けて、この授業で学んだ知識と技術をさらに深めるために、自主的な振り返りや練習に積極的に取り組んでいます。

フィジカルイグザミネーション		1 単位 (30 時間)	
回	内容	方法	講師
1	導入講義・ガイダンス	講義	専任教員
2	フィジカルアセスメント	講義	救急看護認定看護師
3	総論		
4	症状別フィジカルイグザミネーションとアセスメント		
5	症状別フィジカルイグザミネーションとアセスメント	講義・演習	4名の救急看護認定看護師
6	呼吸器系・循環器系		
7	脳神経系・腹部		
8	症状別フィジカルイグザミネーションとアセスメント	演習	4名の救急看護認定看護師
9	呼吸器系・循環器系		
10	脳神経系・腹部		
11	実技試験	試験	4名の救急看護認定看護師
12	筆記試験		
13			専任教員

演習室4ブース



講師陣は、学生の観察や問診に応じて必要な情報を提供しながら、患者役のセリフ、I-SBAR-Cによる報告を受ける医師役まで担い、臨床現場をリアルに再現。



トレーニングモデル人形を使用して心音聴取



問診の様子

